

令和3年度 第1回 佐世保市図書館協議会 会議録

1. 日 時 令和3年11月18日(木) 午後4時～午後5時45分

2. 場 所 佐世保市立図書館 4階 A会議室

3. 出席者 ○佐世保市図書館協議会委員 (定数5名)(出席5名)

- ・学校教育関係者 末竹 実
- ・社会教育関係者 喜多 祥浩
- ・社会教育関係者 松永 美智子
- ・家庭教育関係者 松山 裕美香
- ・学識経験者 中島 金太郎

○事務局・説明者(出席4名)

- ・教育長 西本 眞也(教育長挨拶後に退室)
- ・図書館長 中尾 香代子
- ・館長補佐兼図書第一係長 谷口 進太郎
- ・図書第二係長 合満 佐和子

4. 会次第

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

(3) 教育長挨拶

(4) 会長選出

(5) 議題

- ①令和2年度事業報告について
- ②令和2年度決算状況について
- ③令和3年度の事業実施状況について
- ④その他

(6) 閉会

5. 議事(要点筆記)

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

～教育長から委嘱状及び人事発令通知書を交付した。～

(3) 教育長挨拶

本日は、お忙しい中お集まりいただき、厚く御礼申し上げます。先ほど、委員の皆様には委嘱状並びに人事発令通知書を交付させていただきました。2年間、よろしく願います。

委員の皆様には、日ごろより図書館事業の実施にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、教育委員会では、令和2年度からスタートした『第7次佐世保市総合計画』のめざす将来像の実現に向け、学校教育や生涯学習の場において、生涯を通じて自らが学び、文化、スポーツ等に親しむことができる環境の充実に取り組んでいるところである。

また、第7次総合計画に併せて『第3期佐世保市教育振興基本計画』を策定し、総合計画と連動

しながら、様々な施策を展開しているところである。

図書館については、生涯学習の拠点として、市民の皆様の豊かな読書活動の拠点としての取り組みを推進している。また、次世代を担う子どもたちが身近に読書に親しめるよう、ブックスタートやおはなし会を実施するとともに、学校の授業で使用する図書の貸出や「図書館を使った調べる学習コンクール」など、学校と連携した取り組みも行っている。

また、コロナ禍においてもサービスを停滞させないため、オンラインによるビブリオバトルの開催や、10月から電子書籍サービスを開始するなど、新たな取り組みも展開している。

本協議会は、図書館の円滑な運営と図書館サービスの向上のため、委員の皆様から貴重なご意見をいただく場として開催している。忌憚の無いご意見をいただければ幸いである。

結びになるが、委員の皆様におかれては、今後ともご理解とご指導を賜るようお願い申し上げて、私からの挨拶とさせていただきます。

#### (4) 会長選出

委員の互選により、喜多委員が会長に選任された。

#### (5) 議題

##### ①令和2年度事業報告について

《 説 明 》

～事務局から資料に基づき、令和2年度の事業報告を行った。～

##### 【令和2年度概況】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大による国の緊急事態宣言が全都道府県に拡大されたことを受け、令和2年4月18日（日）から4月26日（日）まで図書館を全面利用禁止とし、臨時窓口を設置して事前予約制による貸出を実施した。また、4月27日（月）から5月11日（月）まで、臨時窓口を閉鎖し、臨時（完全）休館とした。

新型コロナウイルス感染症対策のため、おはなし会、英語イベント、雑誌のリサイクル市、各種講座等、多くの事業を中止せざるを得なかったが、ビブリオバトルや読み語り講座をオンラインで開催するなど、新たな取組みも行った。

子どもの読書活動推進については、新型コロナウイルス感染症対策による大きな影響があったが、「第三次佐世保市子ども読書プラン」に基づき、子どもたちが年齢に応じた本と触れ合うことによって、本の楽しさを発見し、身近に読書に親しめるよう、また、子どもたちが主体的に情報を選択し、自分の考えをまとめ、人に伝えることができるよう、ブックスタート、学校等支援、図書館を使った調べる学習コンクールなど、様々な取組みを行った。

年間利用者数や貸出冊数については、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館や図書館3階（学習室、視聴覚室等）・4階（会議室、飲食コーナー等）の閉鎖、外出自粛などの影響を受け、令和元年度と比較してそれぞれ14万4千人余、21万3千冊余の減となったが、インターネットでの蔵書検索利用件数については、令和2年9月1日からサービスを開始した蔵書検索ウェブサイト「さぼんサーチ」とコロナ禍でのおうち時間の増加が相まって、令和元年度と比較して約10万件の増となった。

##### 【主要事業】

###### ・一般室

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
ビブリオバトル	9月22日(火祝)	Web 会議システム zoom によるオンライン	29人

	11月23日(月祝) 2月23日(火祝) 図書館A会議室	開催。	
上映会	毎週水曜日(18回開催) 視聴覚室	新型コロナウイルス感染対策として、金曜日の上映会を中止し、水曜日のみ開催した。入口に消毒液を設置、鑑賞に際してのお願いを掲示し、新しい鑑賞方法を採用。	187人 平均10人
特別上映会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
図書館活用講座		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

・児童室

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
おはなし会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
おたのしみ会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
ちいさい子向けおはなし会「とことことこ」		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
赤ちゃん向けおはなし会「いないいないばあ」	毎週木曜日(19回開催) おはなしのへや 児童室中央フロア 中2階	絵本の読み語りや手遊び、パネルシアターなどを行った。 佐世保市の新型コロナウイルス感染レベルに応じて人数制限や、場所を変更して行った。	322人 平均16人
ブックスタート	4ヶ月児健診日(44回実施) 中央保健福祉センター 東部保健福祉センター 江迎支所 小佐々支所 宇久保健福祉センター	4ヶ月児健診会場において、ブックスタートパック(絵本やおすすめ絵本リストなど)を渡し、図書館のご案内を行った。	1,751人 平均39人
第4回図書館を使った調べる学習コンクール	7月～9月 市内小学校・義務教育学校に通	コンクールを開催し、市内全小学校へポスター、チラシを作成・配布し募集を行った。	応募作品 33点

	学する児童		
図書館を使った調べる学習講座	8月1日(土) 8月2日(日) 8月10日(月祝) 8月16日(日) 視聴覚室	百科事典や図鑑の使い方、調べるテーマの決め方などについて講座を行った。	低学年 8人 中学年 14人 高学年 7人
読み語り初級講座	3月20日(土祝) 視聴覚室	オンライン会議システム zoom を使用し、絵本の読み方、選び方などの講座を開催した。(定員 20名)	7人
みつけて！クリスマス	12月19日(土) 12月20日(日) 児童室	初級編(小さい子向け)と上級編(小学生向け)の2種類のクイズを行った。	89人
学校等支援	通年	授業支援のための資料貸出、ブックトークやおはなし会等を行った。	647件
読書週間イベント「本の中のすてきなことば」・「おすすめカード」	10月27日(火) ～11月8日(日) 児童室	本の中の「すてきなことば」を展示した。利用者が薦めたい本について「おすすめカード」を記入してもらい、本とともに展示した。	204人
読書週間特別講演会「伊藤明美氏講演会」	11月1日(日) 視聴覚室	ストーリーテリングの実践とテキストの選び方・子どもに昔話を届ける意義についてご講義いただいた。 佐世保市の新型コロナウイルス感染レベルに応じて参加者数の調整を行った。	40人

・郷土資料室

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
夏休み郷土学習教室	8月8日(土) 世知原炭鉱資料館・倉渕橋	児童をはじめとした参加者に対し、郷土史跡の現地解説を行った。	19人
児童・生徒の郷土研究発表会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
郷土研究所の公開発表会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
古文書解読講座		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

市民ギャラリー展示会	通年中 2 階市民ギャラリー展示会コーナー	芸術文化活動などの発表の場として、絵画等の展示を行った。	14 回実施
------------	-----------------------	------------------------------	--------

・ 移動図書館

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
はまゆう号巡回	通年 個人貸出 29 箇所 団体貸出 49 箇所	新型コロナウイルス感染レベル 4 以上は運休	巡回日数 160 日

・ 共通

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
第 5 回図書館まつり		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
英語 de 図書館		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
図書館 de L I V E		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
リサイクル市		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
図書館探検ツアー		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

・ 西九州させば広域都市圏事業

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
利用者登録・貸出	通年	佐世保市と連携市町相互間で利用者登録・貸出を行った。(佐世保市・松浦市・佐々町・川棚町・波佐見町・東彼杵町・小値賀町)	有効登録者数 533 人。 のべ貸出者数 2,221 人。 貸出冊数 9,066 冊。
配送サービス	毎月 2 回 (24 回実施)	地元図書館での本の返却サービスと連携市町図書館相互間での貸出・返却資料の配送サービスを行った。(佐世保市・松浦市・伊万里市・佐々町・川棚町・波佐見町・東彼杵町・有田町)	711 冊 平均 30 冊

図書館相互レベルアップ事業 児童文学作家くすのきしげのりさん講演会	10月11日(日) 山澄地区コミュニティセンター 講堂	連携市町の図書館職員、利用者等を対象とした講演会、研修会等を実施するもの。(佐世保市・松浦市・伊万里市・佐々町・波佐見町) 収容人数制限の関係から、会場を図書館から変更。(定員80名)	51人
--------------------------------------	-----------------------------------	---	-----

### 【事業評価】

令和2年度は、コロナ禍においてやむなく臨時休館したが、感染レベル毎に新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、図書館サービスの提供やイベントを実施した。

コロナ禍によるサービス縮減やイベント中止などの影響で、来館者は前年比4割減の約22万人となったが、外出を控えて家で過ごす時間が増えたこともあり、貸出冊数は2割減の約817千冊となった。感染レベルごとの対応について、ホームページ・フェイスブックや館内放送等でご理解とご協力をお願いしたため、特に混乱することなくサービスの提供を継続することができた。

また、おはなし会やイベントにおいては、コロナ禍でもできるだけ多くの方に安全に安心して参加していただけるように、オンラインでの開催や、場所や回数の検討、人数制限や予約制による開催としたが、参加者のアンケート結果では満足度も高く、所期の目的は達成できた。

さらに、蔵書検索サービス「さぼんサーチ」のサービスを開始し、利用者と図書館職員の利便性が格段に向上した。

今後は引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、社会の変化に柔軟に対応しつつ、オンラインの活用や電子図書館といった非来館型のサービスの拡大など、コロナ禍におけるサービスのあり方をさらに検討していく必要がある。

### 《 質 疑 》

会長：ただいまの説明に対し質問、意見等があればお願いしたい。

委員：上映会について、金曜日を中止して水曜日のみ実施したというのは、72時間経てばウイルスが死滅するという考えからか。また、おはなし会を赤ちゃん向けの「いないいないばあ」のみ実施した理由は何か。

資料の自己点検・評価の欄に「目的は達成できた」といった記載が散見されるが、資料に目的の内容の記載がないのでわかりにくい。

意見として言わせていただくが、参加者のアンケート結果について満足度が高かったとのことであるが、今後サービスを向上させていくうえで、参加していない方の声も聴く必要があるのではないかと思う。

事務局：事業の目的については、事業計画の策定時にそれぞれ定めて、本協議会にもお諮りしたうえで、図書館のホームページでも公表しているため、今回配付した資料には添付を省略させていただいた次第である。

委員：図書館の階段に掲示しているおすすめ本の展示や、一般室や児童室のテーマ展示についてもこの事業報告にあげてはどうか。展示についても、職員、スタッフが時間をかけて、いろいろな工夫をされているので、載せるべきだと思うが、いかがか。

事務局：次回の事業計画・事業報告から載せるようにしたい。

委員：資料2ページで、図書館活用講座を新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したとあるが、本年度は開催したのか。

事務局：本年度はオンラインで開催させていただいた。

委員：先ほどの委員のお話の続きであるが、資料に事業の目的が記載してあれば、こちらでも評価しやすいと考える。

事務局：配慮が足りなかった。次回から事業計画についても添付することとする。

会長：他にあるか。

委員：私は佐世保市音楽協会に所属しているが、コロナ禍で、音楽関係の活動はいろいろと中止せざるを得なかった。ずっとコロナ対策をしながらの活動となった。図書館も同様に大変だったろうと感じている。

委員：資料3ページ。私は、昨年度も「図書館を使った調べる学習コンクール」の審査員をさせていただいた。これについては、「調べる学習講座」も開催されている。作品をみていると、本を読んで、どこの部分を引用したのかがわかるように記載されているので、「調べる学習講座」のなかでそういったお話をきちんとされているのだと思う。作品をみていると、自分の調べたいテーマに必要なものをきちんと抽出して、自分の考えをまとめているので、この事業の大切さを実感している。

事務局：先ほど委員から質問いただいた上映会の件であるが、コロナ禍のなかで外出をなるべく控えるといった動きがあったので、図書館としても週2回の開催を半分にしたところである。

委員：特に児童室について、コロナ禍で赤ちゃん向けのおはなし会を実施するにあたり、逡巡するようなことはなかったか。

事務局：冒頭の委員のご質問と合わせてお答えする。おはなし会、おたのしみ会、ちいさい子向けおはなし会「とことことこ」については、土曜・日曜に開催していた。土曜・日曜は来館者が多く図書館が混雑するので、コロナ禍での開催は難しいと判断し、中止した次第である。

赤ちゃん向けおはなし会「いないいなばあ」については、平日に開催していたため、開催する方向で検討した。まずは開催場所について、中2階などの風通しのよい場所や児童室フロアでできないかといった検討を行った。また、手法の検討として、職員、スタッフがマスク着用のみで行うのか、それとも飛沫防止用のアクリルパネルを使用して話し手の表情が見えた方がいいのかといった試行錯誤をしながらの実施となった。

委員：コロナ禍において、非常に考えながら、行事を実施されていると思う。コロナ禍だという理由で短絡的に中止を決定するのではなく、なんとかしてやっつけようとする努力が垣間見える。本当に大変で、苦勞されたことと思う。

会長：他になければこれで質疑をとどめる。

## ②令和2年度決算状況について

### 《 説 明 》

～事務局から資料に基づき、令和2年度決算状況の説明を行った。～

・ 予算額 205,761 千円に対し決算額 192,871 千円 不用額 12,890 千円

内訳としては次のとおり。

「施設管理」	予算現額	59,473 千円	決算額	53,150 千円	不用額	6,323 千円
「運営」	予算現額	103,323 千円	決算額	97,311 千円	不用額	6,012 千円
「図書館資料費」	予算額	40,000 千円	決算額	39,655 千円	不用額	345 千円
「郷土研究」	予算額	2,965 千円	決算額	2,755 千円	不用額	210 千円

### 《 質 疑 》

会長：ただいまの説明に対し質問、意見等があればお願いしたい。

委員：電子書籍は何冊くらい購入するのか。

事務局：電子書籍は今年度の予算になるので、令和2年度決算には含まれていない。

委員：電子書籍の単価は紙の本に比べて高いと聞いているので、今年度の資料費は予算増となっているのか。電子書籍は1冊どれくらいするのか。

事務局：ベストセラー本などの著名な本は、2年間の使用期限付きで1冊5千円ほどする。文庫本で1,800円くらいする。

委員：使用期限はあるが、貸出人数についての制限はないと考えてよいのか。

事務局：基本的に、ワンタイトル・ワンユーザーとなっている。

委員：令和2年度の不用額の金額は、コロナ禍の影響を受けてのものか。それとも、例年、同程度の金額が不用額として生じているのか。

事務局：コロナ禍の影響も多少あると考えている。特に光熱水費については、臨時休館や来館者の減などにより、不用額が生じている。また、令和2年度は、長期継続契約の切り替わりの年だったので、入札差金により、館内警備、清掃などの庁舎管理に要する委託料に不用額が生じた結果となっている。

委員：例年どれくらいなのか。

事務局：施設改修等により入札差金が生じるので、その年によって変わってくる。

委員：理解した。

委員：運営の印刷製本費や旅費は、どのようなかたちで使われているのか。

事務局：印刷製本費は「佐世保の図書館」のような冊子やパンフレットの作成、館内掲示物やイベントチラシ等の印刷に要する費用である。旅費については、研修会や会議等の出席に要する交通費や日当として支給するものである。

委員：他になければ、私からもいくつかおたずねする。不用額についてはどうするのか。翌年度に繰越すのか。

事務局：自治体は単年度予算主義となっており、その年度の予算はその年度で使い切ることが原則となっているので、予算の繰越しをすれば翌年度に繰り越して使うことができる。

委員：理解した。では、図書購入費に34万5千円の不用額が生じているが、図書の購入は計画的にできると思うので、不用額が生じないよう調整できたのではないかと考えるが、いかがか。

事務局：図書の購入については、委員ご指摘のとおり、予算の残額を見ながら、計画的に行っている。ただし、図書購入については、財源の一部に篤志家からの寄附金を充てており、それを折り込んだうえで図書購入の支出予算が措置されている。そのため、見込んでいた寄附金が入らなければ、その金額分、図書を購入できないといった結果となり、それが今回の不用額となったものである。

委員：理解した。これは私の考えであるが、先進国をみると、図書館は、目的税で運営しているところが多い。日本はそうでないため、自治体の一般財源のなかに組み込まれ、予算の制約を受けた運営を余儀なくされていると感じている。図書館は、将来を担う子どもたちを育む情操教育に欠かせない大切な拠点なので、予算の組み方についても、もっと建設的な手法を模索できないかと常々感じているところである。

会長：他になければこれで質疑をとどめる。

### ③令和3年度の事業実施状況について

《 説 明 》



～事務局から資料に基づき、令和3年度の事業実施状況について報告を行った。～

★講座・イベント

年月	項目	状況等	コロナ関連状況
4月	・公民館のコミュニティセンター移行に伴い、公民館図書室の名称をコミュニティセンター図書室に変更		フェーズ3
5月	★「第5回図書館まつり」開催  ・第1駐車場有料化工事開始(5/10(月)～6/14(月))  ★「第4回オンラインビブリオバトル(通算20回目)」開催	5/3(月)～5/5(水)開催。おすすめ本展示、特別展示「かがくのとも特集」、子ども向け上映会、スタンプラリー等 中央公園リニューアル工事に伴う駐車場の有料化工事(フラップ式へ)。代替駐車場として、千住病院前の中央公園第1駐車場を図書館の暫定駐車場として開放。(令和4年3月末まで) 5/22(土)開催。パトラー3名。オーディエンス5名。	フェーズ3
6月	・コロナ感染症対策によるサービス縮小(6/5(土)～)  ・第2駐車場有料化工事開始(6/14(月)～)。第1駐車場利用再開(6/15(火)～)  ★「少年科学館プラネタリウムイベント『本と星と宮沢賢治の世界』」実施	3階・4階の立ち入り禁止。会議室利用禁止。レファレンス(調べもの相談)、インターネット利用、DVD・CDの視聴、座席利用の中止。滞在時間の短縮(30分程度)のお願い。移動図書館「はまゆう号」の車内利用を禁止し、予約本の貸出のみを行う。 第1駐車場工事完了。第2駐車場の駐輪場は第1駐車場に移転。  6/19(土)開催。少年科学館とのコラボイベント。宮沢賢治の銀河鉄道のプログラムに合わせ児童向けにブックトークやアニメーションを実施。40名程度参加。	6/5(土)～ フェーズ3→フェーズ4   フェーズ4
7月	★「図書館活用ミニ講座(オンライン編)」開催  ・サービス制限の緩和(7/13(火)～)	7/4(日)開催。Zoomにより開催。80分程度。自宅からできる図書の探し方(HPを中心)や、外部データベース活用法の紹介など。定員20名。  3階・4階利用再開。会議室利用再開。間隔を空けて座席の利用、DVD・CDの視聴再開。移動図書館「はまゆう号」の車内利用再開。長時間の滞在をご遠慮いただき、レファレンスサービスを30分以内で再開。	7/13(火)～ フェーズ4→感染レベル3(指標を「フェーズ」から「感染レベル」へ)

	<p>★「図書館探検ツアー」開催</p> <p>★「夏休み郷土学習教室」開催</p>	<p>7/22(木祝)開催。午前と午後の2回開催。各回定員 10 名。</p> <p>7/31(土)開催。福井洞窟ミュージアム見学。21 名参加。</p>	
8月	<p>★第5回「図書館を使った調べる学習講座」オンライン開催</p> <p>・コロナ感染症対策によるサービス縮小(8/7(土)～)</p> <p>★「福音館書店『かがくのとも』編集部講演会」オンライン開催</p> <p>・コロナ感染症対策による時短営業の開始(8/24(火)～9/24(金))</p> <p>・佐世保市が国の「まん延防止等重点措置地域」の指定を受けての措置</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン会議システム Zoom による開催(各回定員 20 名)。</p> <p>8/1(日)低学年講座(1・2 年生対象) 10 名受講</p> <p>8/7(土)中学年講座(3・4 年生対象) 6 名受講</p> <p>8/8(日)高学年講座(5・6 年生対象) 3 名受講</p> <p>3 階・4 階の立ち入り禁止。会議室利用禁止。レファレンス(調べもの相談)、インターネット利用、DVD・CDの視聴、座席利用の中止。滞在時間の短縮(30分程度)のお願い。移動図書館「はまゆう号」の車内利用を禁止し、予約本の貸出のみを行う。</p> <p>8/21(土)開催。小学校高学年向けの内容。</p> <p>感染レベルが4から5になったことを受け、感染レベル4の措置に加えて、火曜日から土曜日までの開館時間を2時間短縮(10時から18時まで)</p> <p>感染レベル5の措置を継続。(9/12(木)まで)</p>	<p>8/6(金)～ 感染レベル3→ 感染レベル4</p> <p>8/19(木)県独自の緊急事態宣言発令</p> <p>8/20(金)～ 感染レベル4→ 感染レベル5</p> <p>8/27(金)～9/12(日) 国の「まん延防止等重点措置地域」に指定</p>
9月	<p>★「第5回オンラインビブリオバトル(通算 21 回目)」開催</p>	<p>感染レベル5の措置を継続(9/24(金)まで)</p> <p>9/23(木祝開催)。バトラー3 名。オーディエンス 5 名。11/14(日)開催の佐世保大会「ビブリオバトル 2021inSASEBO」の予選会も兼ねて開催。</p>	<p>9/12(日)国の「まん延防止等重点措置地域」の指定解除。県独自の緊急事態宣言は継続。</p>

	<p>・サービス制限の緩和(9/25(土)～)</p>	<p>夜間開館の再開。3階・4階利用再開。会議室利用再開。間隔を空けて座席の利用、DVD・CDの視聴再開。移動図書館「はまゆう号」の車内利用再開。長時間の滞在をご遠慮いただき、レファレンスサービスを30分以内で再開。</p>	<p>9/25(土) 感染レベル5→ 感染レベル3(県独自の緊急事態宣言の解除)</p>
10月	<p>★「電子書籍サービス」開始(10/1(金)～)</p> <p>★「絵本作家にしむらかえ氏講演会」オンライン開催</p> <p>★なぞ解きイベント「ひゃっか王からの挑戦状」開催(10/5(火)～11/28(日))</p> <p>★読書週間イベント「貸出スタンプを集めよう」開催(10/27(水)～11/26(金))</p> <p>・サービス制限の緩和(10/29(金)～)</p> <p>★「オンライン太宰治イベント」開催</p>	<p>インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等から利用可能。佐世保市立図書館の利用登録が必要。一人2点。貸出期間2週間。</p> <p>10/3(日)開催。講演テーマ「かんころもちの絵本ができあがるまで」定員40名。</p> <p>児童室開催。百科事典ポプラディアを使って、館内の手がかりを見つけてなぞを解くイベント。小学生以上対象。定員120名。</p> <p>児童室開催。貸出1冊につきスタンプを1つ押し、スタンプ数(10個、20個、30個ごと)に応じてプレゼントを配付。</p> <p>長時間の滞在を可とする。3階講座室、視聴覚室等の座席数の増。DVD全ブース使用可(3席⇒6席)。</p> <p>10/30(土)開催。「佐世保ねぶた祭り実行委員会」の主催で、太宰治の生家「斜陽館」(青森県五所川原市)と佐世保市立図書館などをオンライン会議システムZoomでつなぎ、太宰への理解を深めるイベント。参加者21名。 五所川原市立図書館、五所川原市観光物産課等協賛。</p>	<p>感染レベル3</p> <p>※10/17(日)・19(火)開催予定の「雑誌のリサイクル市」中止</p> <p>10/29(金)～ 感染レベル3→ 感染レベル1</p>
11月	<p>・図書館照明設備LED化改修工事開始(11月～2月中旬予定)</p> <p>★西九州させぼ広域都市圏主催「福音館書店 山形昌也(やまがたまさやさん)講演会」開催</p>	<p>・一般室、児童室、郷土資料室をはじめ、LED化されていない照明器具を更新するもの。</p> <p>11/1(月)開催。会場:佐々町地域交流センター 講演テーマ「科学絵本って楽しい!『かがくのとも』の作り方」対象:図書館職員</p>	<p>感染レベル1</p>

	<p>★第5回「図書館を使った調べる学習コンクール」表彰式</p> <p>★「ビブリオバトル2021inSA SEBO」開催</p>	<p>55名参加(構成市町:佐世保市・松浦市・伊万里市・波佐見町・佐々町)</p> <p>11/13(土)開催。低学年・中学年・高学年の各部門最優秀賞受賞の児童(各1名)とその保護者を対象に開催 開催場所:3階視聴覚室</p> <p>11/14(日)開催。させぼ文化マンスによる開催(4回目)で、長崎国際大学との共同開催。会場(アルカスSA SEBO)での開催に加えて、オーディエンス(定員25名)を会場だけでなくオンライン会議システム Zoom でつなぎ参加。</p>	<p>※「児童・生徒の郷土研究発表会」は、夏休み作品展の中止により開催中止。</p>
--	--	---	--

《 質 疑 》

会長：ただいまの説明に対し質問・意見等があればお願いしたい。

委員：2点ほど。1つは、電子図書館についてであるが、「佐世保市の今と昔」のコーナーで郷土資料の閲覧ができるとのことであるが、これは将来的に数を増やしていけるのか。また、国立国会図書館のデジタルコレクションのように印刷やPDF形式でのダウンロードができるのか。

もう1点。行われている事業のなかで、中学生、高校生、大学生向けの企画があまりないように見受けられる。子ども向けのものについても、赤ちゃんや乳児向けで、その後が小学生向けというようなことが結構多いのかなといった印象がする。私の子どもは幼稚園に通っているが、小学生向けには早いし、赤ちゃん向けのものには参加できないといった感じなので、その点、いかがお考えか。

事務局：電子図書館の郷土資料については、今後、徐々に増やしていく予定である。リンクを貼る機能があり、国立国会図書館のデジタルコレクションに佐世保関連の資料がある場合は、そこにリンクを貼って、電子図書館のサイトから閲覧できるので、そういったコンテンツも今後増やしていきたいと考えている。また、「広報させぼ」や行政資料等、佐世保市に関する資料の登録についても進めていきたいと考えている。

印刷、PDF形式でのダウンロードについてであるが、この電子図書館サービスは、閲覧用に開発されており、そういった機能がないので、すぐには実現できない。

これについては、デジタルアーカイブとしての視点で、佐世保市全体の取り組みとして考えていく必要があると感じている。

中学生から大学生に向けてのイベントが見えづらかったと思うが、ビブリオバトルについては中学生や高校生の参加も少ないながらあり、佐世保大会では、佐世保北中、北高の生徒の参加もあった。また、図書館の児童室、一般室にはYA(ヤングアダルト)コーナーを設けているので、引き続き若者を誘導できる取り組みを進めていきたい。

幼児向けのイベントについては、毎週土曜日開催のおはなし会を中心に取り組んでいるが、児童室イベント「みつけてクリスマス」など幼児から参加できるものもある。今後、おはなし会の再開に向けて検討するなかで、委員ご指摘の点も参考にさせていただきたい。

委員：第5回「図書館を使った調べる学習講座」をオンラインで開催されているが、どのような方法で実施されたのか。

事務局：オンライン会議システム Zoom によりご自宅のパソコンとつないでいただき、画面上で百科事典等を見せながら、調べ方の講座を実施した。

委員：画面上に受講する子どもたちの顔が映るのか。

事務局：質問を受けるときはそうなるが、講座を聞くときはこちら側の画面となる。事前に講座で使用する資料を郵送し、その資料に沿って順番に解いていくとできるようなかたちとなっている。

委員：工夫されている。

事務局：来館していただき、一緒に本を開いて調べるやり方がベストであるが、コロナの感染状況もあり、準備する段階で、感染レベルが上がるか下がるか判断が難しい状況だったので、確実にできる方法ということで、今回はオンラインでさせていただいた次第である。

会長：他にないか。

委員：私から 2 点ほど。図書館駐車場工事に関連して、千住病院前の暫定駐車場に駐車して、借りた本を持ってあの坂道を登るのはとても大変である。読み聞かせのボランティアなどで、大型絵本を借りると、夏の時期はとても大変だった。もし可能であれば、ボランティアなど、大型絵本等たくさん本を借りた方に、4 階に本だけ上げてもらい、職員専用の出入口のところで、その本を受け取ることができたら助かる。事務室の中を通るのはいろんなことがあるので駄目だと思うが、本だけでも上げてくれたらいいのと思う。

次に、資料 2 ページのレファレンスサービスについてであるが、今も 30 分以内としているのか。1 件の平均所要時間はだいたい 30 分以内で終わっているのか。大きなレファレンスになると何日もかかるのではないかと思うが、その場合は受け付けだけ行い、後日回答するといった感じなのか。

事務局：レファレンスについては委員のおっしゃるとおりである。駐車場の件については、足の不自由な方や子ども連れの方には大変ご不便をおかけしていると思う。玄関前の駐車場についても台数に限りがあるので、委員ご指摘のとおり、ご事情のある方について、窓口でその旨おっしゃっていただければ、できるだけ対応させていただきたいと考えている。

委員：お子さん連れで暫定駐車場に駐車された方で、大型絵本を借りられた方にとっては、そういった、窓口にお声がけくださいといったサービスがあるととても嬉しいと思う。

事務局：参考にさせていただく。

委員：他になければ私から 3 点。まず、第 2 駐車場はいつ完成するのか。

事務局：令和 4 年 4 月 1 日の供用開始となる。

委員：有料となるのか。

事務局：そのとおりである。玄関前の第 1 駐車場と同じで、最初の 1 時間は無料。以後 30 分ごとに 100 円となる。

委員：2 点目。オンラインをかなり導入されているが、各行事をするにあたり、トラブルを起こした事例はあるか。

事務局：事前に相手方と接続テストを行い、実施しているので、開催途中でできなくなったといった事例は発生していない。ある程度、順調に開催できている。

委員：3 点目。最近、コロナのレベルが下がって落ち着きをみせ始めている状況のなかで、いろいろな事業者や団体が、PCR 検査やワクチン接種済みの証明書を提示すれば、割と自由に利用できるといった手法を導入しているが、図書館についてはどうか。

事務局：今の段階では、そういった証明書の提示までは求めていない。コロナ禍の大変な時期でも、利用者の皆様には、マスクの着用や手洗い、入り口に設置した消毒液での手指の消毒にご協力

いただいたので、図書館ではクラスター等の発生が起きていない。このままの運用を続けさせていたきたいと考えている。

会長：他になければこれで質疑をとどめる。

④その他

《 次回開催日について 》

次回は来年度の事業計画と予算を議題として提案予定。

開催については、令和4年2月下旬から3月中旬までの間を予定。日程については事務局で連絡調整する。

(6) 閉会

以 上